

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2019年日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

2. 競技方法について

【トラック競技】

- ①競技に際してはスパイクシューズ（オールウェザー用9mm以下のピン、走高跳については12mm以下、本数は11本以内とする。）、又は、シューズを使用すること。
- ②スタートの合図はイングリッシュコールとする。（全学年対象）
- ③短距離のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
- ④スタートは同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格としオープン参加として走る。
- ⑤リレー競走（男女混合4×100mR）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。
（補欠についても男女各1名ずつとする）
- ⑥リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。
テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑦リレーにおけるマークのテープは各チーム（学校）で準備すること。
また使用後のテープは必ずそのチーム（学校）の選手が外すこと。
- ⑧リレーオーダーはプログラムに記載されている選手以外は認めない。
リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。
ただし、男女による型の違いは認めるものとする。

⑨80mハードルの規定

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

⑩トラック競技の予選はタイムレースで行う。

タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。

それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則第167条2）

- ⑪100mでは予選をタイムレースで行い、決勝を予選上位8番までの選手
予選9番～16番までの選手で9位以下決定戦を行う。

⑫800mはオープンレーンで実施する。

【フィールド競技】

- ①コンバインドA走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。走高跳のバーの上げ方は、次の通りである。

	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	以降3cm
	女子	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	1.05	1.10		以降3cm

走高跳は、2回続けて失敗した時点で終了とする

- ②コンバインドBの走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
4年以下走幅跳については、予選試技を3回行い、上位8名によるベスト8（試技3回）を行う。
- ③コンバインドBのジャベリックボール投は、主催者が用意した器具を使用する。
やり投に準じて行いが、助走距離は15m以内とし、距離の計測は器具が最初に地面についた地点から計測する。羽を持つての投てき、回転投げを禁止する。

3. コンバインド競技

- ①本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。
コンバインド A：80mハードル、走高跳
コンバインド B：走幅跳、ジャベリックボール投
- ②各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2019）』による。
- ※『JAAF 小学生混成競技得点表（2019）』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開
- ③80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ④100点以下の記録は、すべて100点とする。
- ⑤スタートまたは試技を行ない、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。
- ⑥スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。
- ⑦最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑧2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。
- ⑨コンバインドの招集について、1種目は招集所で行なうが、2種目については現地で競技開始20分前に行なう。

4. 場内指令について

選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

また、**競技者の本部前の通行は厳禁とする。**

ただし、各チーム（学校）の監督、又はコーチ2名以内の入場を許可する。その場合は主催者が用意する許可証を必ず付けること。

5. ウォーミングアップ場所について

①練習は、補助競技場（12時まで）と雨天練習場を使用する。

②競技場は8時45分まで使用可能とする。

以上①②については監督・保護者は、チームに徹底させること。

6. 招集について

①招集場所は第4ゲート付近の場外に設ける。（会場見取り図参照の事）。

各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。

招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。

②選手は、招集開始時刻に集合し、競技者係より最終点呼を受け、ナンバーカードとスパイクの点検確認を受けること。

③招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。

④代理人による招集は一切認めない。

また出場選手、指導者で許可証着用者以外の招集場所への立入りを禁止する。

⑤リレーオーダー用紙の提出について

男女混合4×100mリレーについては、**予選は8時まで、決勝は15時10分までに情報処理室に提出すること。**

男女4×100mリレーについては、**男子は11時55分、女子は12時05分までに情報処理室に提出すること。**

オーダーは、一度提出したらその後の変更は認められない。

（主催者が任命した医務員の判断があった場合を除くが、走順変更は不可）

（用紙は受付時にプログラムと一緒に受取ること。）

メンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。

7. 表彰

各種目3位まで賞状とメダル、8位まで賞状を授与する。

入賞者は成績発表後、30分後に表彰式を行いますので本部の受賞者席に集合すること。

写真撮影についてはスタンドから撮影をして下さい。

8. 競技場への入退場は、すべて係員の誘導指示を受けること。

9. ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。

跳躍種目はこの限りでない。

10. レーン順、試技順について

- ①トラック競技の予選におけるレーン順及びフィールド競技試技順はプログラム記載の順とする。
- ②レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。

11. チーム控え場所及びスタンドの清掃は、監督・保護者の指示により確実に行うこと。

各チーム（学校）で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

12. その他

- ①今大会で1位になった選手、リレーチームは8月9日（金）から10日（土）
神奈川 日産スタジアムで開催される第33回全国小学生陸上競技交流大会への参加資格が与えられる。全国小学生陸上競技交流大会への参加を辞退する場合は、監督（保護者）が速やかに大会本部へ連絡すること。（但し男女800mと男女4年生以下100m、走幅跳は該当しない。）
- ②全国大会に出場する選手と監督（保護者）は、閉会式終了後、全国大会の参加について説明会を開くので必ず出席すること。
- ③大会中のケガについては、応急処置のみ行いますが、その後については本人（保護者・申し込み責任者）の責任において処置すること。
- ④個人情報の取り扱いについて
 - (1)本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - (2)参加申込みの提出により、上記(1)の取扱いに承諾したものと見なし、氏名、クラブ名、学年、記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - (3)本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞、ホームページ等に公表されることがある。
- ⑤盗難防止のため、貴重品は各チーム・各自で保管する。盗難・置き引きには十分注意する。